

## ■平成22年度 アンケート記述内容について

◆保護者の皆様に記述していただいた内容をまとめました。内容が似ている分については、集約しております。

### (1) 教育目標について

- ・学校便りは、学校の状況を知ることができてとても役立っている。
- ・学校HPを見てびっくりした。生き生きと情報が伝わる。
- ・PTA役員をしていることもあり、学校に多く足を運ぶことで、分かりやすく伝わってくる。
- ・校長先生の学校便りやブログを楽しみにしている。
- ・今年度になり、より学校が開かれた感じがする。子どもたちの表情が明るくなった。
- ・すみません。教育目標については知りませんでした。

☞ 学校の教育目標については、PTA総会や学校便り、夏の地区懇談会で説明してきました。また、学年や学級の目標や子どもたちの様子などについては、学年や学級便りでできるだけお伝えするように努めてきました。また、今年度は学校ホームページを毎日更新し、リアルタイムで学校の情報をお届けできたのではないのでしょうか。その結果、学校が教育方針について分かりやすく伝えようと努力していると、97%の保護者の皆様から評価していただきました。



### (2) 開かれた学校づくりについて(授業参観・学校行事・PTA活動への参加 等)

- ・授業参観など、駐車場がないので小さい子どもを連れて歩いて行くとなると参加できないときもあるのももう少し考えてほしい。
- ・駐車場がなくても、徒歩で学校の行事に参加するのは無理がある。
- ・私の地区は香田です。参観日・運動会などの車の乗り入れについて、できるだけ「徒歩や自転車で」とプリントできますが、遠い地区はなかなか難しいと思う。参加はしたいけれど、駐車場のことを考えると参加しづらくなった。以前は参観日など運動場を開放していただいていたが、昨年からは全て徒歩か自転車になったかと思う。運動会にしても、以前は役場の駐車場などを利用してほしいとの事だったので利用していたが、今年はなかったかと思う。たしかに農道などの駐車は減らないこともあるが、利用していた私からすれば、説明もなく一方的に「徒歩で」というのは残念だ。遠い地区でも気持ちよく学校行事に参加できればと思う。
- ・参加すると子どももうれしいみたいなのでなるべく参加したい。
- ・できるだけ参加するようにしているが、平日は難しいこともある。
- ・特に今年度は、仕事の都合がつかない曜日と重なることが多く出席できなかった。できれば曜日をずらしていただきたい。
- ・いろいろな事情があると思うが、できるだけ積極的に参加してほしい。
- ・行事のことなどメールで知らせてくださるのはとても助かる。特にうれしかったのは、修学旅行に出し心配していたところに、様子についてのメールが届いた時はとても安心することができた。
- ・学校行事や授業参観は積極的に参加しているが、PTA活動となるとあまり積極的とはいえない。
- ・参加しているが、いつも同じ顔ぶれ。
- ・PTA活動に参加してみたいと思うが、仕事の都合上、平日だと休めない。
- ・PTA活動には、全保護者がもっと協力してほしい。(PTA総会、講演会への参加等)
- ・参観日や行事で、地域の方々がよく参加していらっしゃるの分かる。
- ・PTA・学校・地域の連携がうまくいっているように思う。

☞ 多くの皆様に授業参観等に参加いただき、ありがとうございました。もっと多くの皆様が参加しやすいようにとの思いから、作年度から毎回「フリー参観日」として設定しております。おかげさまで、会を追うごとに地域の皆様の参加をいただけるようになりました。また、授業参観日は、できる限り曜日等が重ならないようにバランスよく計画したいと思います。保護者の皆様には、お仕事の都合もありますので、可能な範囲での参加をお願いします。PTA活動は、「むりなく・みんなで・分け合っ」を合い言葉に全員参画で行っています。可能な限りで結構ですので、ご協力をお願いしています。

各種学校行事の際の駐車場につきましては、現在、学校の駐車スペースの関係と運動場の整備、児童の安全、体育の授業公開等を考慮した上でのお願いをしています。今後、PTA企画委員との協議をしながら、できるだけたくさん保護者が来校できるアイデアを検討していきます。

### (3) 確かな学力について－1 (基礎的・基本的な学力の定着)

- ・仕方のないことと思うが、学習内容が定着する前に次！という感じがする。(時間的に)
- ・宿題やテストの様子は毎回見ている。話もしているので様子はよくわかる。
- ・勉強について時々話をしたり聞いたりするようにはしている。
- ・親の努力も足りないのだが、基本が定着した結果があまり出ていないようだ。計算問題のちょっとしたミスがあったりする。
- ・授業で先生の話をしっかり聞いていけば、理解できると思う。できていないところもあるが・・・
- ・先生方の細やかな心配りに、私たち保護者もがんばらねばと思う。
- ・学力維持のためには学習塾に頼らざるを得ない。

☞ 今年度途中から、毎週木・金曜日の朝のスキルタイムに、担任だけでなく級外の全職員も各学年に入って学習支援に当たっています。その中から見えてきたことは、算数の計算や国語の漢字は、それまでに学習してきた内容をしっかり身につけていないと次の学習へ進むときに子どもたちが大変苦勞しているということです。ここでも学習したことをしっかり身につけさせる「宿題」への取組が大事になってきます。

また、学校では算数科を中心に、TT・少人数授業・習熟度別授業など指導方法も改善しながら進めています。さらに成果が現れるように、今後も改善を加えながら取り組んでまいります。その中で、基礎的・基本的な学力の向上をめざしていきます。

### 確かな学力について－2 (家庭学習：宿題)

- ・宿題だけに時間をとられ、他の勉強ができずにいる。多いわけではないが、集中力が続かない。
- ・机に向かっている時間は長いですが、勉強に集中してはいないようだ。
- ・宿題だけで、他の勉強はしていないので少し不安。
- ・家庭学習はしっかりしてほしい。
- ・だらだらと時間がかかる。
- ・宿題も大事だと思うが、仕方なく(特に漢字)している様子なので、自主学习(自分の興味あることを調べる等)の宿題を増やすのはどうか。
- ・宿題は、家では基本的に親の目の届く場所できるように伝えている。宿題のほかにも、書き物(創作)や図工(工作)などを進んでやっている。
- ・子どもが目標を持って学習を始めたので、勉強することが楽しいと言っている。
- ・平日の宿題、土日の宿題と差をつけてもらえると助かる。平日はくたくたで宿題をこなせない。土日を多めに。

☞ 今回のアンケートでは、各学年で設定している家庭学習の時間を87%の子どもが達成していました。ただその中で、時間は確保できていても集中して取り組めない、学習内容に課題がある等の状況も見えてきました。

子どもたちの学力は、学校だけで高めることはできません。学校と家庭が連携し、子どもたちのやる気を高める学習習慣をつけることが重要です。学校は、宿題の内容について今後検討を加えていかなければならないと強く感じています。

そこで、今回、中原中学校との連携で、義務教育9年間を見通した「家庭学習(宿題)のすすめ」というパンフレットを新たに作成しました。特に、高学年にとっては中学校へのスムーズなつながりができるように、親子で一緒に確認をしていただきたいと思います。

全部のご家庭で、ぜひ目につくところに置かれ、家庭学習の指針として活用していただくようお願いいたします。

### (4) 心の教育について－1 (子どもとのふれあいを通した思いやりの心の醸成)

- ・道徳の授業公開は地域密着型で大変良い。
- ・子どもにとっても、体験活動が一番よいと思う。
- ・親子で会話はよくするが、思いやりの心が育っているかはよくわからない。
- ・なるべく時間を作ろうと思う。
- ・家庭でも会話をとても大切にしている。
- ・心の教育は大事なことと思う。しかし、普段意地が悪い子どももいるので、家庭での取組のほうが大事だと思う。
- ・お手伝いは、主に夕食の片づけを分担してやらせている。
- ・相手の立場に立って考えることや、自らを俯瞰してみることを言えるようになったのは、学校でしっかり言われていることが育っているからだと思う。

☞ 道徳の授業公開は家庭での話題提供にもなっているので、今後も授業参観日での公開を継続していきます。

また、学校においては、道徳の時間の学習でも「思いやり」の心の醸成に努めてまいります。

家庭では、子どもとのコミュニケーションを積極的に図ろうとされている保護者の皆さんの姿を見ることができます。今後も子どもとの会話を通して、よりよいふれあいができていくことを期待します。

## 心の教育について－2(家庭での読書)

- ・家で言ってもなかなか読書をしようとしませんが、学校の読み聞かせはとても楽しみにしている。「今日のお話はおもしろかった。」とたまに教えてくれる。いつも読み聞かせありがとうございます。
- ・読書の習慣は付いていないが、本を借りようとする気持ちは出てきたようだ。でも、借りてきた時だけで集中して読み続けることができない。
- ・うちの子は読書をしたがらないのだが、宿題で読書が出ると必ず読むので良かったと思っている。たまに、おもしろい本に出会うと時間を忘れて読んでいることもある。
- ・読書は好きなので、いろいろな本を読んでほしい。
- ・読書は進んでしている。本を良く借りてくる。
- ・たくさんの本と出会っていろいろなことを感じてほしい。
- ・読みやすい漫画の方が多い気がするが、読書はしている。
- ・図書館でよく借りてくる。親の読書量が足りないので、これから改善しようと思う。
- ・小さい頃から読書には興味をもってきたが、最近ではテレビの漫画の影響を受けて、マンガ本を読み始めた。無理やりマンガはだめということをしてほしくない方がいいのだろうか？
- ・なかなか読書に興味を持ってくれない。

☞ 学校では「朝の読書」に全ての児童が取り組んでおり、子どもたちの好きな時間として定着しています。また、学校生活においても進んで読書活動を行っています。しかし、それが読書習慣にまではつながっていないことがこのアンケート結果からうかがえました。本への興味・関心に個人差もあるようです。今年度は、PTAとの連携により月に1回「ノーテレビ・ノーゲームデー」「ファミリー読書」にも取り組んできました。しかし、この取組状況も決して良い結果を得ることはできませんでした。学校だけでなく、ご家庭でも読書をする習慣がほしいものです。来年度も、家族のふれあいも含めた「ファミリー読書」の取組を広げていきたいと思っておりますので、積極的な取り組みを期待します。

### (5) 生徒指導について(家庭や地域でのあいさつ)

- ・小さい頃から挨拶をする癖をつけ、人からされるのではなく自分の方から先に挨拶をするように伝えている。どこに行ってもできていると思う。
- ・我が家ではできている方だと思う。基本的な挨拶は気持ちよくしたいと思う。
- ・地区の方には、以前よりは自分から挨拶するようになった。
- ・自然な形で地域の人や目上の人にしっかりとした挨拶ができるように、親も声を出して挨拶するように心がけている。
- ・挨拶に関しては家でもよく声かけをしている。忘れることもあるようで、もう少し声かけが必要。
- ・挨拶は大切なことと常に話しているが、はずかしい思いがあるようでなかなかできないでいる。
- ・我が子も含めて挨拶ができていない。もちろん、気持ちよく挨拶をしてくれる子どももいる。
- ・学校の中では子どもたちから挨拶してくれるが、外では知っている子どもでも自分からはなかなか挨拶をしないので、こちらから声をかけるようにはしている。
- ・特に高学年の子どもたちは挨拶ができていない。朝の旗当番時やサポーターの方にも、元気に挨拶をしている子どもをあまり見かけない。
- ・朝など特に元気がない子どもが多い気がする。挨拶も自分からというより大人がしたらするという傾向がある。
- ・挨拶に関しては、する・しないに個人差がある。積極的に自分から挨拶できることを望む。
- ・立ち当番をしても自分から挨拶をする子どもが少ない。時には大人から挨拶しても返事が返ってこないこともある。挨拶はとても大切なことなので、学校でももっと指導していただきたい。
- ・学校へ行った時、子どもたちが挨拶をしない。大きな声で元気に挨拶をしてほしい。
- ・挨拶の状況については、以前からあまり進歩していないような気がする。

☞ 子どもたちには、学級や学年での朝会や登校班長会、職員による登校指導などいろいろな場面で折に触れあいさつの指導を行っています。また、週1回の全職員による生徒指導連絡会で反省会をもち、指導に生かせるよう情報交換をしています。少しずつですが子どもたちの意識も高まりつつあると感じていましたが、学校外ではまだまだのようです。

今後も、学校外でも進んであいさつができるように指導をしていきます。あいさつは学校だけで身につけられる力ではありませんので、ご家庭や地域と連携を図りながら、元気にあいさつができる子を育てたいと思います。ご家庭でも引き続き励ましの声かけをお願いします。

## (6) 保健指導について(学校での取組、家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」)

- ・学校で、子どもの体力が身につくような取組はどのようにされているのかわからない。例えば乾布摩擦やマラソンなど行われていないようだが。また、マスク着用の声かけはされないのか。インフルエンザが流行してからでは遅いと思う。
  - ・インフルエンザで欠席する子どもが出したら、予防のために早めにマスク着用を徹底させてほしい。
  - ・体育以外に体力を身につけるような取組が何かわからない。
  - ・昔は、冬は朝登校時にマラソンを必ず行ってから教室に行っていたが、今はないので残念。
- 
- ・毎朝早起きをして、ごはんの後読書をしてから学校に行くようにしている。
  - ・毎朝、必ず朝食は摂っている。自分から必ず起床している。
  - ・「早寝・早起き・朝ごはん」は毎日のことなので、気をつけるようにはしている。
  - ・口うるさく早寝・早起きを言って実行している。朝ごはんは、とにかく食べさせる。
  - ・朝ごはんは絶対食べさせる。
  - ・私の仕事は深夜までであるが、子どもは小さな頃から9時には寝るように癖をつけていたので、今のところ早寝ではある。(起きるのは苦手)朝食は食べない日はない。
  - ・早寝・早起きも心がけているが、両親の帰宅時間等もあり、なかなか思うようにはいかない。
  - ・習慣づけるように促してはいるが、週末はどうしても甘くなってしまう。
  - ・「早寝・早起き・朝ごはん」については、家でもはたらきかけているが結果が出ない。
  - ・早寝・早起きがなかなかできない。冬は起こしてもなかなか起きないので、どうしても遅くなってしまう。
  - ・高学年になり、目標の時間に早寝がなかなかできない。今後の課題。

☞ 「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さは保護者の方々にも浸透し、児童の生活リズムができているおかげで、学校で元気に遊んだり、集中して学習に臨んだりしています。特に朝ごはんは、午前中の学習のエネルギー源です。これからもしっかり食べて登校できるようによろしく願いいたします。気になる児童には、生活の様子を聞き、その改善に向け助言をしています。今後も児童の生活リズムや体力向上について、家庭と連携を図りながら指導を続けたいと思います。

また、体力向上に向けた取組も推進していきたいと思います。

## (7) 校内の環境美化、家庭での整理整頓について

- ・参観などで学校に行った際、いろいろな掲示物があるのは、学校の様子が分かりやすくとてもよい。
  - ・掲示してある子どもたちの作品を見ると感心する。
  - ・校内の掲示物を学校に行くたびにを見せていただいている。よく工夫されていると感心している。
- 
- ・整理整頓は、学校ではできていても家ではしない。
  - ・学校ではわりときれいにしているが、弟といっしょの部屋のせいなのか家での片付けは苦手のような。
  - ・家庭でも整理整頓を心がけさせているが、なかなかできない。
  - ・自主的にはあまりしないので、声かけをしている。
  - ・自分の机の周り自分でするようにさせている。

☞ ご来校の際に、子どもたちの作品等の掲示物を熱心にご覧いただきありがとうございます。子どもたちも友だちの作品からいろいろ学んでいるようです。作品をご家庭に持ち帰りましたら、家族でもぜひ話題にしたり賞賛したりしていただきたいと思います。

家庭で落ち着いて学習するためには、学習に適した環境を整えることも大事です。まずは、身の回りの整理整頓を心がけさせてください。



(8) 学習環境の改善充実について(基本的な生活習慣や学習習慣)

- ・我が家の時間のルールを決め、だいたい守れている。
- ・家庭でもしっかりとがんばっていかねばならないと思う。
- ・クラスが騒々しい場合は、改善が必要。落ちついて学習できる環境が一番大切だと感じる。
- ・言わないとしないし、言いすぎると「分かつと！」と言り返す。瀬戸際が難しい。
- ・帰宅してからのランドセルや制服の片づけをきちんとさせたい。
- ・子ども担当の家事の割り当てがあるので、実行させる。(ペットのえさやり・世話, トイレ掃除)

☞ 本年度も、基本的な生活習慣及び学習習慣をともに高めることが、学力を向上させると考えて取り組んできました。上記「(3) 確かな学力ー2(家庭学習:宿題)」でも触れましたように、学力向上のためには基本的な学習習慣の定着が不可欠の要素です。まずは、その日に学習した内容を家庭で復習する「宿題」をきちんと済ませることが大事です。

今回、中原中学校との連携で、小中9年間を見通した新しい「家庭学習(宿題)のすすめ」を作成します。この中には、小中それぞれの学年に応じた家庭学習の基本的な進め方が示されています。ぜひ、親子でしっかり確認していただきたいと思います。

また、学力向上の土台となるのは、基本的な生活習慣です。「早寝・早起き・朝ごはん」がしっかりできていなくては学力向上を望むことはできません。子どもたちが毎朝元気よく登校するためには、生活リズムを整えることから始めたいものです。

今後も、子どもたちの生き生きとした生活のために、学校と家庭が手を携えて子どもの教育を進めてまいりましょう。

**今年度も多くの皆様からアンケートの回答をいただきました。**

**ご協力ありがとうございました。**